

仙人ヶ岳山行報告

【山行日】 2017年 9月 16(土) 曇り
【集 合】 岩舟支所P AM 5:00
【費 用】 マイカー1台 : 1,000円
【メンバー】 CL:鈴木、岩淵、関、田中
【コースタイム】岩舟支所 P5:00 = 岩切登山口
P5:55/6:10 ~ 生満不動 6:50 ~ 熊の分岐 7:20/7:30 ~
仙人ヶ岳 7:50/8:00 ~ 熊の分岐 8:20 ~ 犬返し 9:00 ~
東尾根の分岐 10:00 ~ 猪子峠 10:30 ~ 深高山 11:10
~ 石尊山 11:40/12:15 ~ 石尊不動尊 13:00/13:30 =
岩舟支所 P14:20



今日から三日間の予定で飯豊連峰を縦走する予定だったが、台風18号の影響で中止を余儀なくされた。16日だけはかろうじて雨マークが無いので、「何処か山行を計画してほしい」と要望があり仙人ヶ岳を計画した。岩切登山口から周遊コースにしたが、健脚揃いなので深高山から石尊山まで



縦走することにした。帰りのバスの時間に合わせ、朝5時に岩舟支所を出発し6時10分に岩切登山口を出発した。岩切橋たもとの「仙人ヶ岳」の標識から左の林道に入る。しばらく沢沿いの林道を進み、堰堤の先から沢沿いの登山道を歩くようになる。丸木橋を渡りスギ林に入ると緩い登りとなり、少し進むと不動沢の滝分岐に出る。直進し滝の手前からロープや鎖を頼りに岩棚をトラバースしながら進む。皆さん沢沿いの道は楽しそうで、I渚さんは「スーさんいい

コースだね～～」と喜んでた。

沢の中を左右に渡り返しながら流れに沿って歩く道は、とても気に入ったらしくハイテンションで登って行く。やがて平坦な道になると、まもなく生不動尊に着く。小休止し、トマトを食べて衣服調整をする。ここからも沢沿いに進むと水流も消え、谷間の道を登るようになる。段々傾斜がきつくなり、右の斜面を登るようになるとさらに急登になり、尾根に出た所が熊の分岐だ。ここから右に行くと猪子峠、左に行くと仙人ヶ岳の道標がある。我々は左の仙人ヶ岳に向かって進んで行く。山火事で枯れた松の木と岩の稜線を辿り、右に赤雪岳への分岐を分けると仙人ヶ岳東端のピークに出る。さらに西へ緩やかな尾根道を数分歩くと、標高663mの仙人ヶ岳山頂に着く。



山頂は広く明るい、木々が邪魔してあまり展望は得られない。グレープフルーツや菓子を食べて、記念写真を撮ったら熊の分岐まで来た道に戻る。熊の分岐からは小さなアップダウンを繰り返しながら尾根道を辿る。

アカマツやクヌギ、コナラの尾根は明るく、561mピークからは松田川ダムや対岸の赤雪山の展望が良い。さらに露岩の尾根を進むと、今日のコース一番の難所「犬返し」の岩場である。高度差10m足らずだが、垂直の岩壁はかなりの高度感がある。クサリが付けられているので、三点支持で慎重に降りれば問題なく降りられる。クサリ場を下り登り返した岩の上で休憩し、I瀨さんが持ってきた



プリンをいただく。山の上でいただくプリンはとても美味しく、皆満足そうな顔で食べていた。この先もアップダウンを繰り返して進み、511mピークからの展望は抜群でこれから登る深高山や石尊山の山並みも大きく見える。この先二度ほどアップダウンを繰り返すと、檜や広葉樹に囲まれた鞍部に出る。東尾根分岐を過ぎ、檜の樹林帯を九十九折れに下ると猪子峠に着く。ここは十字路になっており、深高山へは斜め右に登って行く。緩やかに登ると林道に沿って歩くようになり、やがて名草や栗谷町

への分岐の十字路に出る。深高山へは右の尾根道を進み、急勾配の道を二度ほど上り詰めると深高山山頂に出る。ここで昼食の予定だったが、予定より30分早く歩いたので石尊山の見晴台まで頑張ることにした。山頂から一旦くだり、雑木林のゆるやかな尾根を歩いて行く。アップダウンはあるが気持ちよく歩け、湯殿山への分岐を過ぎると間もなく石尊山山頂に着く。ここから少し登ると見晴台で、ベンチやテーブルがあるのでランチタイムとする。本日の山ご飯は牛タンシチューとパンの豪華メニュー。O嬢が筑波山へ持って行くものを、我々にも分けてくれた。早速鍋に移して暖め、皿に盛ったらブロッコリーをトッピングし生クリームをかける。パンと一緒にいただく牛タンシチューは絶品で、皆大満足の山ご飯となった。至福の時を過ごしたら下山する。ここからの下山道は、見晴らしが良い岩稜の尾根を下って行く。途中には釈迦岩、碁盤岩、屏風岩などがあり楽しく降りて行く。見晴が良い岩場で、ラジオを聞きながらランチを楽しむ男性に「雨が降りそうですね」と声を掛けられた。女人禁制の石柱を過ぎると、登山道が緩やかになり間もなく石尊不動尊に出る。バスの時間まで40分あるので休憩し、トイレを借りてナシや残った菓子を食べていたら、先ほど声を掛けてきた男性が降りてきた。ここに車を止めてピストンで登ったようだ。もしかしたら岩切の車まで乗せてもらえるかなと思い、「どちらへ帰りますか？」と聞くと小俣駅の方です」との答えが。思い切って「岩切まで乗せて行ってもらえますか？」と聞くと「いいですよ」との事で、岩切まで我輩が載せてもらい車を取りに行く。車の中で話を聞くと、桐生在住の方で4年前から足利近辺の山を歩いているとの事。岩切まで送ってもらい、車を回収して石尊不動尊まで戻り皆を乗せ岩舟支所に向かう。I瀨さんは先程の男性を気に入ったようで、「もし体験山行を申し込んで来たら、絶対に教えて」と何回も言っていた。が、残念ながらまだ男性からの入会問い合わせは来ていない。帰りの車の中ではその男性の話で盛り上がり、アツと言う間に岩舟支所に帰着した。

